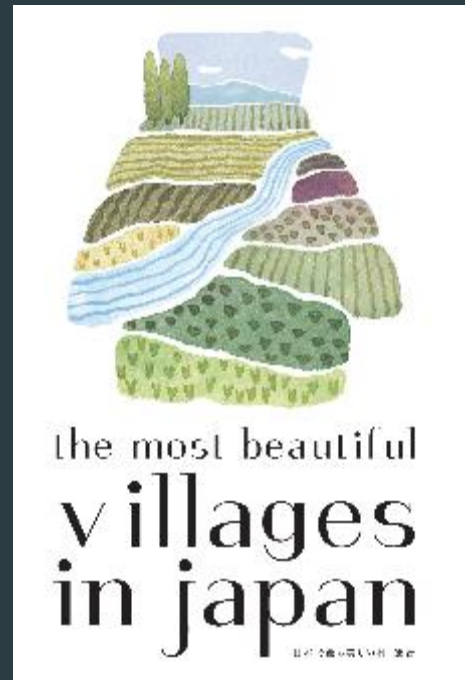


和束町

企業版ふるさと納税のご案内



【お問い合わせ先】

担 当 和束町まちづくり応援課

電 話 0774-78-3002

E-mail matidukuri@town.wazuka.lg.jp

(令和8年4月時点)

和束町について



京都府の南の端に位置しており、町の中心を和束川が東西に流れ、寒暖の差が朝霧を生み、コクのある茶葉を育みます。

和束町は、四方を山に囲まれた京都府最大のお茶の産地。くらしのすぐ隣に広がる茶畑と山なみは、独特の景観を織りなし、「茶源郷」と呼ばれています。



企業版ふるさと納税のお願い

和束町 の課題

- 和束町の人口は令和8年3月1日時点で3,266人であり、10年で千人以上減少
- 65歳以上の人口は1,639人であり、高齢化率は50.2%（京都府内トップクラス）

このまま人口減少、少子高齢化が進行すると...

地域のコミュニティや地域産業の衰退、担い手不足等により、このままでは「茶源郷 和束」が**消滅の危機**に！！

和束町の**地方創生の取組み**に対して
企業の皆様からの**寄附**をお願いいたします

企業版ふるさと納税とは (内閣府地方創生推進事務局作成資料より抜粋)

地方公共団体の地方創生の取組に対して企業が寄附を行った場合、最大で寄附額の約9割が法人関係税から税額控除され、実質的な企業の負担が約1割まで軽減される制度です。

全国の寄附実績	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
寄附企業数	459社	1,112社	1,138社	1,117社	1,640社	3,098社	4,663社	7,680社
活用自治体数	118団体	253団体	287団体	293団体	533団体	956団体	1,276団体	1,462団体

ただし、下記の留意事項があります。

- ・ **1回あたり10万円以上**の寄附が対象になります。
- ・ 寄附を行うことの代償に経済的な利益を受けることは禁止されています。
- ・ **本社が所在する地方公共団体への寄附**は、**本制度の対象外**になります。

和束町への寄附に対してのベネフィット

(下記のベネフィットは寄附を受けた見返りとしての経済的利益には該当しません)

- ▶ 10万円以上50万円未満の寄附
➔ **礼状の送付**
- ▶ 50万円以上100万円未満の寄附
➔ 訪問による**感謝状の贈呈**
- ▶ 100万円以上の寄附
➔ **町有施設内で感謝状贈呈式の開催**



【茶源郷まつりでの感謝状贈呈式】

更に、寄附企業様の名称、寄附金額等については、**町のホームページ等に掲載**させていただきます！

※寄附企業様から辞退の申し出があった場合は除く

選ばれる茶源郷事業

(第2期和束町まち・ひと・しごと創生推進事業)

<事業例>

- 子どもと保護者の集いの場づくり



【子育て伴走型相談支援】

- 公共交通の維持と充実



【茶源郷乗合交通ワヅカー】

- 都市住民の二地域居住の推進



【和束スマートワークオフィス】

魅力的な茶畑景観と豊かな自然環境を基盤とし、新しい暮らし、充実した子育て・教育環境、そして利便性の高い交通ネットワークを整備することで、多様な世代・層から持続的に選ばれる「茶源郷和束」を確立していく事業です。

価値を生み出す茶源郷事業 (第2 和束町まち・ひと・しごと創生推進事業)

<事業例>

- 農・観連携コミュニティ創生事業



【学生の農泊体験】

- 茶業振興対策



- 地域ブランドの普及・育成



【和束茶シロップ】



【和束茶ペットボトル】

「和束ファン」獲得に向けて、本町のお茶を通じた様々な魅力を最大限引き出し、5感で感じ、体験することで記憶に残るまちづくりを進めるほか、鷲峰山トンネル開通によるメリットを生かし、新しい事業を展開し、ブランド化を促進するとともに、茶産業を軸に町内での雇用環境を整備し、訪れる場所だけでなく、働く場所としての価値を生み出す「茶源郷和束」を確立するための事業です。

持続可能な茶源郷事業 (第2期和束町まち・ひと・しごと創生推進事業)

<事業例>

● 高齢者見守りサポート事業



● 健康福祉交流センターの活用



和束町健康福祉交流センター
chanova (ちやのぼ)

● 鳥獣被害総合対策事業



茶畑等への食害をもたらすシカ等の捕獲檻の導入支援

住民が住み続けられる環境を維持するため、住民同士の支え合いを大切に、人口規模に適応した施設整備や高齢者等に向けた充実したサポート体制による安全で安心を生むまちづくりを進めるとともに、町単独ではなく広域での連携も強化し、将来にわたって持続可能な「茶源郷和束」を確立する事業です。

最後に、和束町長からご挨拶

和束町は京都府の南端に位置し、緑豊かな山腹に茶畑が広がる美しい景観を有する町で、宇治茶の一大生産地でもあります。

江戸時代には和束の地は化粧料として朝廷に献上され、皇室の直轄地「禁裏御料地」となって天皇家にお茶を納めてきた歴史もあり、特に高品質なお茶を生産し続けてきました。

長い時間で育まれた独自のお茶の文化や景観、自然豊かな里山の環境等を守り、しっかりと後世に引継いでいくために、本町では「和の郷 知の郷 茶源郷 和束」を掲げて各種施策に取り組んでおりますが、厳しい財政状況に加えて、顕著な少子高齢化や人口減少等の深刻な課題に直面しております。

地方創生の取組みは待ったなしの状況の中、企業版ふるさと納税を介した温かいご支援は、本町の再生と復活に向けた大きな力と励みになります。皆様のご厚意について前向きにご検討下さいますようお願い申し上げます。



和束町長
馬場 正実